

大宮中学校美術科《第3学年》年間指導計画

美術科 教科目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

美術科 第3学年の目標

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考え主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

【知・技】は、「知識・技能」、【発・鑑】は、「思考・判断・表現」の発想と鑑賞、【態】は「主体的に取り組む態度」

月	題材名等と配当時間	題材目標	指導内容	観点	評価規準
4月	■オリエンテーション (1時間)	美術科の学習について意欲を高める。	○心構え 授業の内容説明 ○年間授業内容・評価方法など	【態】	美術の創造活動に興味をもち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。
5月	■空想の世界への誘い 「アートグラス」 (10時間)	自分の体験、見たことや聞いたことなどから空想を広げて主題を生み出し、想像力を膨らませ、構成や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にアートグラスで表現する。	○心の中を深く見詰め、想像力を働かせて空想の世界をイメージしながら主題を生み出す。 ○主題を基に、自分の体験や物語などから新しい世界をイメージし、表現の構想を練る。 ○表現技法や、形や色彩、材料を工夫して表す。 ○自分や友達作品を鑑賞し、その思いや意図、表現の工夫を感じ取り、話し合う。	【知・技】	構図や色彩などが感情にもたらす効果や、具体物や抽象的な物の組み合わせなどを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。 スクラッチ技法などを生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。
6月	■透視図法			【発・鑑】	空想や心に広がる世界を基に主題を生み出し、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
第1回定期考査					
7月	鑑賞 ■日本美術 ～修学旅行にむけて～ 「刻まれた祈り」 (1時間)	仏像の表現の特徴や細部と全体から受ける印象などから、込められた願いや創造的な表現の鶴風などを感じ取り、継承されてきた仏像に対する理解や見方を深める。	○仏像を鑑賞し、感じたことや、考えたことなどについて話し合う。 ○時代や種類、作者による特徴などを理解し、それぞれの仏像のよさや美しさ、作者の願い、創造的な表現の工夫などを感じ取り、作品から受ける思いについて意見を述べ合う。	【知・鑑】	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に空想や夢を基にした心の中の世界から構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表情の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
9月	■自分へ贈る卒業記念品 「印章ケース」 (10時間)	使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、形や色彩、材料の効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して見直しを持ってデザインする。	○これまでの美術の授業で身に付けたことを生かして、使う場面や飾る場所を考えて主題を生み出す。 ○造形的な美しさなどを考えて構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら、見直しを持って創造的に表す。 ○自分や友達作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え、話し合う。	【知・技】	形や色彩、材料の質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、意図や効果など全体のイメージで捉えることを理解している。 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見直しを持って創造的に表している。
10月				【発・鑑】	構成や装飾の目的や条件などを基に、使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練っている。 使う場面や飾る場所、思いなどの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。

11月	「印章ケース」 〈10時間〉				美術の創造活動の喜びを味わい主体的に調和のとれた装飾を考え構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う場面や飾る場所、思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
	第3回定期考査				
12月	■魅力が伝わるパッケージ				
	■鑑賞 時代を写す美術 (美術史) 〈2時間〉	美術作品に受け継がれてきた美意識や造形的なよさを感じ取り、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を深めたり、意見を出し合ったりする。	○作品を鑑賞し、形や色彩、材料などに着目して、古いものの中にある美意識などを捉える。 ○文化財をどのように次世代へと継承するのかを考え、友達と意見を述べ合う。	知 鑑	形や色彩、材料などの性質や、それらが感情にもたらす効果、造形的な特徴などを基に、よさや美しさを全体のイメージや古いものの中にある美意識などで捉えることを理解している。 美術作品に受け継がれてきた美意識などから、伝統や文化のよさや美しさを感じ取り愛情を深めるとともに、美術文化の継承と創造などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
1月	■石を彫る「篆刻」 〈9時間〉	使う場面や飾る場所、思いなどから主題を生み出し、形や材料の効果を考え、意図に応じて自分の表現方法を追求して見通しを持ってデザインする。	○これまでの美術の授業で身に付けたことを生かして、自分の名前や文字のイメージなどを考えて主題を生み出す。 ○造形的な美しさなどを考えて構想を練る。 ○材料や用具の特性を生かしながら、見通しを持って創造的に表す。 ○自分や友達作品を鑑賞し、表現の意図や工夫について考え、話し合う。	知 技 発 鑑	形や材料の質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、意図や効果など全体のイメージで捉えることを理解している。 材料や用具の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、制作の順序などを総合的に考えながら、見通しを持って創造的に表している。 使う場面や自分の名前の文字、思いなどから主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた洗練された美しさなどを総合的に考え、表現する構想を練っている。 使う場面や飾る場所、思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。
	第4回定期考査				
2月	■デザインで変える 現在と未来 鑑賞 〈1時間〉				美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に調和のとれた装飾を考え構想を練ったり、意図に応じて自分の表現方法を追求して見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に使う場面や飾る場所、思いなどとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3月	■オリエンテーション あなたへ ～中学校美術からの 巣立ち～ 〈1時間〉	生活の中で美術と豊かに関わる力が中学校3年間の学びの中で育ち、卒業後もその力は一生継続していくものであることを理解させたい。	○制作した作品の返却し、美術の活動を振り返る。	鑑	美術の創造活動に興味をもち、主体的に学習活動に取り組もうとしている。